



# 白鳳点描

## 夏休みを迎えるにあたって

校長 川本 幸 則

2年生の子どもたちが生活科の授業で育てている鉢植えが、校舎の前に並べられています。少し前から、ミニトマト、ナス、ピーマンなどの野菜が実をつけています。朝、正門で子どもたちを迎え振り返ると、育てている野菜にペットボトルを使って水をやっている子どもがたくさんいます。みんな野菜が大きく育つように一生懸命に取り組んでいます。本当にほほえましい様子です。子どもたちが一生懸命に取り組んでいる姿を見ることは、大好きですし、私もうれしくなってしまうます。

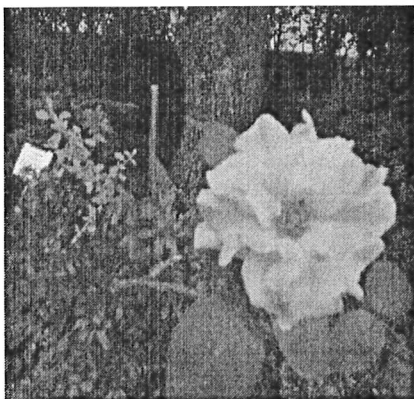
また、運動場の西側の学級園では、ひまわりやへちま、オクラ、ホウセンカ、サツマイモが植えられています。それぞれ生長をしています。特に、ひまわりは、あっという間に子どもたちの身長を追い抜き、大きなものは2メートルぐらいあると思います。

5年生では、メダカの観察も行っています。小さな卵の中の成長も顕微鏡を使って観察し、生命の誕生について学びます。

きっと学校では、毎年繰り返される光景だとは思いますが。しかしながら、実際に成長（生長）の観察に取り組んでいる子どもたちには、初めての学習で、自分の目で確かめた経験が生きる力となっていきます。不思議だなあと思うこと、なるほどと感心すること、なぜだろうと考えることなど、いずれも大事にしてやりたいものです。

もうすぐ1学期が終わり、夏休みを迎えます。子どもたちにとっては、きっと待ちに待った夏休みだと思います。世の中が新型コロナウイルス感染症のために、制約が多く、いつもの夏休みのようにはいかないかもしれませんが、楽しく、有意義な夏休みを送ってほしいと願います。学校ではなかなかできないことができるような夏休みであってほしいと思います。

自分のことですが、子どもの頃、「大きな川の『はじめ』はどんなふうになっているのだろう」と思っていたところ、夏休みの家族旅行で、水が湧き出して小川ができている場所を訪れることができ、とても感動したことを覚えています。



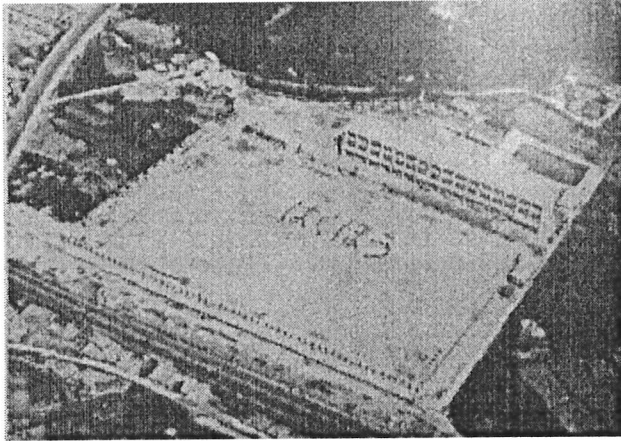
アンネのバラが一輪だけ咲いていました。  
 「ウィキペディアより」  
 アンネのバラは、自然を愛し、とりわけバラが好きだったアンネ・フランクの「形見」として捧げられたバラである。日本へは父のオットー・フランクから寄贈された物が広まり、愛と平和のシンボルとなっている。  
 「もし、神さまが私を長生きさせてくださるのなら、私は社会に出て、人類のために働きたいのです。」  
 アンネ・フランク

アンネのわきで

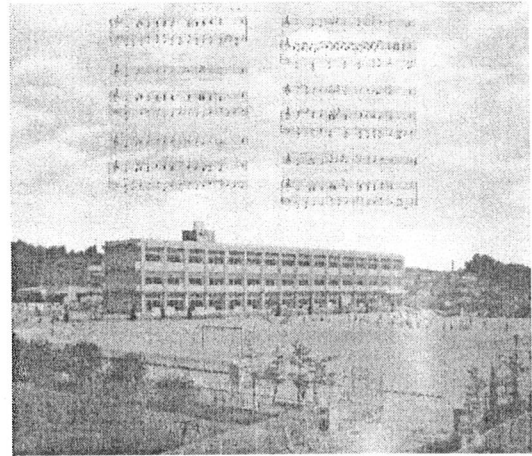


# 魂根氣 勇心一歩

## 白鳳小学校 開校50周年



昭和49年度卒業アルバムより



昭和50年度卒業アルバムより

上の写真は過去の卒業アルバムにあった写真です。校舎が一部だけで、左の写真には体育館がありません。右の写真を見ると、わかりにくいかもしれませんが、体育館の建築工事をしています。

学校の周りも家がほとんどなく、校門も今とは違うところにあります。50年の間にずいぶん街が変化していることがわかります。

先日、4年生が、地域の方から「ざい踊り」について学びました。白鳳小学校の歴史よりずっと昔からこの地にある伝統芸能です。新しく変わっていく世の中ですが、昔から伝わるものも残していきたいですね。

※ ざい踊りとは 【尾張旭市ざい踊保存会のホームページより】

ざい踊りは、市内で古くから行われてきた先祖供養のための盆踊りで、主に少女が踊る女踊りのひとつです。一尺五寸（現在は40cm）ほどの竹筒の片端に、長さ四寸（現在は28cm）の紅白に染めた紙房をつけた「ざい」と称する手具を両手に持って踊ることからこの名前があります。

### 【愛知県嚴重警戒措置 2021年7月12日(月)～8月11日(水)】

家庭においても、規則正しい生活習慣の徹底（体調不良の際は登校しない・させない）、不要不急の外出を避け可能な限り速やかな帰宅、生徒のみの会食等の自粛等の対応をお願いします。（「感染再拡大の防止に向け県民・事業者の皆様へのお願い」から）

